薬剤部
Department of Pharmacy

詳細はこちら

病院長補佐、部長
なかむら　やすたか
中村　安孝



専門
薬剤業務全般

スタッフ

副部長　すだ　やすき　**須田　泰記**
【専門】 薬剤業務全般、教育・医薬品安全管理

副部長　かわぐち　ひろし　**川口　博資**
【専門】 薬剤業務全般、病棟業務・入退院支援業務

副部長　もとばやし　ゆき　**元林　有紀**
【専門】 薬剤業務全般、庶務・連絡調整、中央業務

業務内容・特徴

薬剤部では、医薬品の専門家として診療科・看護部門・中央部門等と連携をとり、医療チームの一員として薬物治療ならびに医療安全に貢献しています。

【病棟業務】全病棟に病棟専任薬剤師を配置し、入院患者さんへの薬剤管理指導業務に加え、持参薬の鑑別、内服・注射処方に対しても、検査データなどを利用し、処方チェックの精度を向上させ、医師へ処方提案や情報提供を行い、医薬品適正使用を推進しています。

【中央手術部サテライト薬局】専任薬剤師が常駐し、手術に使用する医薬品の供給･管理を行い、ハイリスク医薬品の適正管理を行っています。

【がん化学療法】薬剤師は、投与量、投与間隔、投与方法から配合変化や吐き気止め薬の選択等についてチェックを行っています。内服抗がん剤の服用を開始される患者さんへの服薬支援により、安全で適正な抗がん剤治療に貢献しています。

【医薬品安全使用】医療の質・安全管理部の専任安全管理者（薬剤師）と連携し、院内の医薬品関連のインシデント防止への取り組みを行うことで、医療安全に貢献しています。

取り組み

部内において、症例検討会や各種研修会を開催し、自己研鑽ができる機会を設けています。さらに、各々の薬剤師が積極的に研修会、学会等に参加することによりスキルアップを図り、専門薬剤師等の資格取得を目指して、医療チームの一員として専門性を高める努力を行っています。

看護部
Nursing Department

詳細はこちら

副院長、部長
なんじょう　ゆみ
南條　幸美



専門
看護部門統括

スタッフ

副部長　なか　まりこ　**中　麻里子**
副部長　せわき　じゅんこ　**瀬脇　純子**
副部長　えんどう　ひろこ　**遠藤　弘子**
副部長　つじの　みゆき　**辻野　美由紀**
副部長　こうの　けいこ　**河野　桂子**
副部長　よしもと　ちづる　**吉本　千鶴**
副部長　いまざき　ゆきこ　**今﨑　由起子**

業務内容・特徴

看護部では、大阪公立大学医学部附属病院の理念に基づき「患者さんの生命と個別性を尊重し、看護実践能力の向上に努め、質の高い看護を提供します」と看護理念を掲げています。臨床の現場で、患者さんや家族の意思を尊重したチーム医療を推進し、安全で質の高い医療の提供に尽力しています。地域連携を強化し、切れ目のない医療サービスが提供できるよう、患者総合支援センターの更なる充実に取り組んで参ります。

現在、3 領域の専門看護師、14 領域の認定看護師、14 区分 27 行為の特定行為看護師が在籍し、それぞれの領域で実践を行っています。「看護外来」では、患者さんや家族に対して、病状・治療方針について適切な情報提供を行い、心理状態に配慮したケアを行うことで意思決定を支援しています。クリティカルケア領域では、疾病や外傷、侵襲の大きな手術をうける患者さんの回復を促進するためにの看護の提供や家族支援などを実践しています。

また、「看護師の特定行為に係る指定研修機関」として他施設からの研修生も受け入れています。

取り組み

豊富な知識、確かな技術と科学的思考、そして高い倫理性をもち看護が提供できるように、専門・認定看護師などを活用した教育体制を充実させています。また、フィジカルアセスメント能力向上にむけた、シミュレーション学習に力を入れ、さらに、特定行為看護師を養成し、実践能力の強化を図っています。